

## KGAニュース

'86冬季号  
昭和61年12月20日

第12回関東クラント・シニア(東京ゴルフ倶楽部)

## 目次

60年の伝統が培った「調和」	1	昭和62年度主催競技及び月例競技日程表	11
霞ヶ関カントリー倶楽部理事長 澤田 悅			
昭和61年度 関東シニアゴルフ選手権競技	3	理事会・委員会	12
昭和61年度 関東グランド・シニアゴルフ選手権競技	6	コースレート	13
ルールQ & A	9	昭和61年度月例ポイント表	14
1987年アジア・ゴルフ・サーキットのお知らせ	10	月例競技成績表(昭和61年9月・10月)	15
		月例(11月)お知らせ	16

No.17

## 理事長インタビュー

## 60年の伝統が培った「調和」

霞ヶ関カントリー倶楽部理事長 澤田 悅氏

聞き手・KGA広報委員 杉山 通敬



——いきなりこういうことをお尋ねするのも不謹ですが、週日会員を募集しているそうですね。いくらくらい、何名ですか。

「400万円です。12月に50名、来年の3月に50名、合わせて100名です。まあ、新陳代謝してますからね。老齢で自然退会なさる方もおられるし、亡くなられた方もおりますし」

——入会の資格はなにか設けていらっしゃる?

「公表するものではありませんけどね。一応選考委員会をつくって審査し理事会で決定することにしています」

——「霞」の会員になるのはゴルファーの夢みたいなもので、希望者も多いと思いますけど、ウェディングしているんでしょうか、希望者は。

「いえ、その都度です。2回、3回と応募してくる方もおられます。実は昨年は週日会員から正会員へ100名ばかり切り替わりましてね。その分の補充でまずは週日会員になっていただき、それから正会員のほうへ変更していただくようになっています。社団法人制の倶楽部ですので、売買はできませんし、終生会員になるわけです」

——入会したからには一生「霞」のメンバーとしてプレーする。そのことが会員の最大公約数的な共通意識を育てるところがあるでしょう。

「気に入らないから会員権を売る、というわけにはいかないわけで、そのことが会員全体を一つにまとめている面はあると思います。新しい入会者も、家族として迎え入れる雰囲気がありますしね。会員がしおちゅう入れ替わっているようでは、本当の意味のクラブライフは楽しめないのではないか」

——ただ、社団法人として「手かせ足かせ」がありはしませんか。公益に寄与する、ということですから。「それほど窮屈に考えていませんが、『公益委員会』というのを設けて対処しています。ゴルフの普及に

寄与するという意味もありますし、地域との交流も図っていく面もあって…。例えば全日本ジュニアゴルフなども「霞」でやることが毎年、恒例になっています。埼玉オープンの第1回大会(昭和57年)も畠中知事から、最初なので、「霞」でやらせてくれ、ということでお引き受けしました。営利を目的としてクラブを運営しているわけではありませんので、その都度、なにかあれば委員会に諮って検討させていただいています」

——全日本ジュニアと言えば、彼らは「霞」でプレーできることを大変に喜んでいますね。いわば「霞」は高校野球の「甲子園」です。憧れになってるようです。「そう言っていただけると光栄です。コースのコンディションを良くして、ジュニアが育ってくれれば、と思っています」

——グリーンを造りかえたそうですね。

「ええ。勇気がいましたけど。開場当時(昭和4年)は高麗のワングリーンだったわけですが、13年にペントのサブグリーンを造った。夏は高麗、冬はペントということでやってきたのですが、このところペントを使うほうが多くなって来ましたね。年間を通してみると本グリーンより、サブグリーンでプレーする回数が多いんです。こりや、本末顛倒じゃないか、ということになったわけです。ま、数年前から西コースの一部とか、練習グリーンで実験を重ねてきたのですが、いざ東コースの18ホール全部をやりかえるとなると、冒険ですからね。決断するのに勇気がいました」

——ペントの水成栽培ですね。

「パーウィック方式という10年以上前からアメリカで研究が続けられていたものです。専門的なことはよく知りませんが、底にピニールを敷きつめまして、砂を入れ、排水と散水と肥料とに十分注意するんでしょうが、専門的な知

## 理事長インタビュー

識がないのではっきりしたことは申し上げられませんけど。去年(60年)の暮れに着工して、61年の春に種をまき、11月から使い始めました。幸い、評判は大変によいです。この工事中は従来のサブグリーン、つまりペントですが、夏でも使っていたわけです。手入れさえしてやれば、1年を通して使えるんですね、ペントでも。ま、新しいのはうがこの先どうなるか分かりませんが、各方面の皆さんから注目されていましたし、失敗はできませんから、コース委員の方や工事をやってくれた会社も大変なご苦労だったと思います。

—工事費はどのくらいかかりましたか。

「正確なことは手もとに資料がありませんので申し上げられませんが、2億円はかかるかもしれません。1ホール平均1,000万円足らずだったと思います」

—ボールの走りは早いですか。

「ええ、早いです。クオリティはいいですよ。一度、試しにいらっしゃい(笑)。まだ、日曜と、それから木曜土曜、1週間のうち2日しか使ってませんけど、評判が良いのでひと安心です」

—ところで、じきに“60周年”になるわけですが、60年の間に培われた伝統と、ちょっと言い方がまずいと思いますが、因習みたいなものですね。洗い流したほうがいいものもあると思いますけど、いかがですか。

「メンバー同士が親しく交流しているという点では60年の歳月が培ってくれたものがありますね。最前申したように終生会員ですから。良くない因習があるとも思いませんけど、ただ時代が変わってきましたね。大衆化してきた…。そうした時流の中で必然的に洗われていくものがあるでしょうが、良い伝統は守っていかなければならぬと思います。調和でしょうね。会員同士の調和もありますし、俱楽部として時代とどう調和していくかという問題もあるでしょうし…」

—これは毎回、理事長にお尋ねしていることですが、スローブレー対策はどうなさっていますか。

「エチケット委員の車がありまして、マーシャル(巡回)が乗ってコースを巡回し、遅い組には早くしてくれよう注意を促すようにするとか、いろいろ苦心しています。ハーフで1時間50分が標準ですかね」

—年間入場者は何名くらいになりますか。

「7万人見当でしょう。会員とビジターの割合も半

半ぐらいです。ま、たまに混む日もありますが、18ホールで150名程度が一日の来場者として適当なところでしょうかね」

—高齢者の会員がたくさんいらっしゃるので、医務施設というか健康の面でお気を配るところもあるでしょうね。

「医務室や休養のための部屋はつくっていますが、幸い大きな事故はないようです。お年を召されればどうしてもプレーが遅くなりますから、三人一組で回っていただくとか二人一組にもららうとか、その都度、臨機応変にやってらっしゃるようです。高齢者は俱楽部の功労者であり、長老でもあるのですからね」

—(石川博英・広報委員) 実は癌研の増済先生、“霞”的メンバーでもあるのですが、先生がおしゃるにはゴルフをやっているから健康が保てるのではないか。いつまでもゴルフをやっていたいから健康に気を配るんだ、とそう言われましたが、なるほどと思いました。

「そうそう、先生はたしか、私、(大正2年生まれ)より一つ年上のはずですよ」

—ところで、理事長ご自身のゴルフは?

「昭和25年からです。“霞”的メンバーになったのが27年。同じコースで35年もプレーしていますと、前はここまで飛んだのにこのショートホールはアイアンで十分だったのに、今はウッドでもきついとか、そぞろ哀れを催します」

—失礼ですが…。

「ハンディですか? 良かったころは9でしたが、今のオフィシャルは16、もう90を切るのに苦労します。それでも年に80回はコースに出てますかね、半分は“霞”ですけども」

—最後になりましたが、霞ヶ関カントリー倶楽部のなかに脈々と通じている“特色”はどういうものだとお思いですか。

「やはり“調和”でしょうね。メンバー同士が家族みたいなのですし、どなたとも顔見知りですから“和”も保てると思います。私もプラッタヒトリで行くことが多いのですが、今日は、ちょうどよいからご一緒にということで、すぐに“ひと組”できてしまします。会員の異動が少ないので、全体が“調和”するのでしょうかね」

## 競技

### 昭和61年度 関東シニアゴルフ選手権競技

●開催期日 9月30日、10月1日 ●開催コース 箱根カントリー倶楽部(5,887m、パー72)



▲優勝した岡野幸男氏

#### 岡野幸男氏(日高)が優勝

61年度関東シニアゴルフ選手権決勝競技は9月30日、10月1日の2日間にわたって箱根カントリー倶楽部(全長5,887m、パー72、使用グリーン、ペント)で行われた。

台風17号の余波を受けて前日とはうって変わった悪天候、強風を交えた激しい雨足に138名の参加選手はすぶ濡れになつての悲戦苦闘だった。

「もう、ダメだよ、寿命が縮みそうだ」「これじゃプレーは無理だ。グリーンで船を漕いでいるようだ」

「下着を2枚、長袖のシャツにセーター、そして雨合羽とこれじゃダルマだよ」と着ぶくれで体が回らないと嘆く人、「まだやらせるつもりかね」と、そらじゅうの人たちに当たり散らす御仁もいたが、雨はとんだところで苦情続出の原因となつたが、それでも最後まで全員がホールアウトして無事に大会は終了した。

「さすがにマナーやエチケットに目頃うるさい人たちだけに、最後までやり通したことには敬服しますね」と、雨の中を応援に駆けつけたクラブの関係者や身内の人たちは一様に驚きながらも感嘆しきり。

たしかに突風を交えた雨、急激に冷え込んだ寒気、フェアウェイは水びたし、当然のことながらグリーンはところによっては水が噴き出るところもある始末でコース条件としては最悪の状況での試合とな

ったが、とくに前日の好天下のグリーンの早さに比べてこの日は雨で「ころがり具合が計算出来ない」と、ほとんどの人が3パットの連続だった。

4パットして天を仰ぐ人を見て笑いが出る始末で、シニア選手権ならではの和やかな大会の雰囲気。午後はコースの管理側から各ホールのグリーンサイドに水拭きのための要員を特別配置するなどして関係者あわての努力が見られ、作業員の声援に勇気づけられる一幕もあった。

前日75のベスト・スコアで立っていた岡野幸男氏(日高)は、午前中42とスコアを乱し、同伴の平本正美氏(長竹)に38の快スコアで攻め込まれ、3差の逆転を許して「参ったよ!」と憤然。59年度のチャンピオンだった山口梅吉氏(横浜)も「いや! トリプルだよ」と1ホールで大きく崩れたことでガッカリの表情。百戦錬磨の勇士も雨に泣く始末。

なにしろトップから上位15名までの差が4ストローク、この日の悪天候を考えれば誰が飛び出してくれるか全く予想はつかない。運、不運はゴルフにはつきもの、雨ですべるグリップを拭きながら一球一打に泣いたり笑ったりの悲喜こもごもの大接戦。最後まで優勝の行方をおもしろくしてくれたこの日の大会だった。

前半を終わって前日5位の芝入俊雄氏(姫ヶ崎)が38と銳く追いあげ2位に上昇、トップに躍り出した平本氏と並んで首位戦線は山口氏を含めて岡野、平本、芝入の4氏にしばられ混沌として来た。

最終組を回る岡野、平本、朝井(狹山)の3氏、その一組前を行く芝入、山口、浜野(レインボー)の二組が互いに相手のスコアを気にしながらの攻防だ。

トップに立った平本氏、多分にプレッシャーを感じている様子だ。午後のスタートで3ホールを連続ボギー。一方、再逆転を狙う岡野氏は相手の崩れに乗じて手堅くパーで回って13番で早くも一線に並び、逆に13番ミドルホールでは2打をピン1.5mにつけてパーで一歩前に出る。2位に芝入氏と平本氏がピッタリとマーク、反撃の機を伺う。14番ショートホールで平本氏はグリーンの左に大きくそらし、

# 競技

アプローチミスも手伝って惜しいダブル・ボギーとして消沈。また芝入氏も14番ショートを右にOB、トリプルボギーはこれまでの善戦に暗い影をさした感じだ。浜野氏もなんとか拾い続けて一挙逆転を狙って果敢に攻める。昨年惜しくも第5位に泣き『今年こそは』とその雪辱に燃えている。

山口氏も當時上位入賞を果たしているペテラン、悩みのバットがふき切れれば、アッという間に2~3ストロークは縮められる実力の持ち主、後半4ホールを残しての最後のつばせり合いも一段と熾烈になって来た。

13番でトップに返り咲いた岡野氏、続く14番をパ一で切り抜けたところで優勝を意識したのか、これまでの鋭さが多少にぶり始めた感じだ。15番でアプローチをグリーンオーバーさせてヒヤリとさせたが、なんとかボギーでおさめた。芝入、山口両氏の執ような追い込みに力が入る。

シニア5年目の挑戦、鷺之台では6位、2年目は山口さんとブレーオフを演じて敗退したという平本氏、「今年はなんとか頑張りたい」と思ったが、午後になって持病の腰が痛みはじめて思うように体が動かなくなったり、と自滅宣言を早々に出した平本氏の表情はそれでも意外と明るい。

一方、岡野氏「昨年は第4位、今年に賭けました。午前中42もたいててもう駄目だと思ったが、死にもの狂いでですよ」とシニア2年目に賭けた意欲は見事なファイトぶりだ。クラブ対抗では日高カントリーの選手として活躍、日頃から明るい陽気な性格の持ち主だけにゴルフ仲間の間では人気者だといふ。「この大会だけは自分が『老人(年長者)』だとは言えないからね。小さくなつてやってますよ」と緊張する中で周囲を笑わすことも忘れない余裕ぶり。最後2ホールを連続ボギーとして38、この日80で通算155、堂々の逃げ切りを果たし念願の初優勝に輝いた。

2位は同スコアで芝入氏と山口氏。芝入氏は「14番ショートのトリと18番のダボがすべてでした」と述した大魚を無念そうに『来年こそは』と捲土重來の弁。

ペテラン山口氏もさすが後半確実に追い上げたが前半の42がたたり一歩届かず、5位の鈴木氏(青梅)と浜野氏も雨のグリーンに泣いた。

今年10年連続出場で表彰を受ける武石小二郎氏(船



▲「グリーンの水を取って…」「これでは入らないよ…」と笑うシニアたち

橋)と神林鍊氏(我孫子)の両氏も大健闘、同じ10年組の宮富氏(鷺之台)は最終ラウンドは腰痛がひどく試合を棄権したが、「プレーは無理だから僚友のため応援してくるよ」と傘を手に終日友情応援となった。

午後4時、悪天候を押して全員がホールアウトした時点でまた激しい雨足が襲ってきた。浴場に飛び込む者、日本シニア選手権出場のためのクオリハイのラインを聞こうと大会事務局に詰めかけた人たち。170ストロークまでの上位49名(45位タイ)が10月15、16日の両日、広島カントリー倶楽部で開催される日本シニアゴルフ選手権大会への出場権を得たが、年齢を感じさせない元気ぶりに関係者はただ感嘆するばかりだった。

試合終了後、表彰式に移り参加者全員の和やかな歓談が続いたが、武内KGA副理事長は「年々参加者が増えていることは大変喜ばしいこと。米国では55歳からがシニア、だが日本は満60歳から。しかしこの雨の中での熱い戦いぶりを拝見し、まだまだ現役でも通用する若さ溢れた皆さんのプレーに心から敬服しています」と挨拶。そしてこの日、ホール・イン・ワンの快挙をやってのけた栗原幸彦氏(水戸)らを囲んでの談笑がいつまでも続いていた。

尚、予選ラウンドに於けるメダリストは、次の通りであった。

第1ブロック 成宮秋良氏(横浜)

第2ブロック 松野京三氏(我孫子)

(文・宮元昭雄、写真・石川博英)

# 競技

## 昭和61年度 関東シニアゴルフ選手権競技成績表

参加者138名 9月30日(火)、10月1日(水) 於: 箱根カントリー倶楽部  
36ホールストロークプレー (5,887m、バー-72)

順位	氏名	所属	第1ラウンド		第2ラウンド		合計		
			アウトイン	計	アウトイン	計			
優勝	岡野幸男	日高	35	36	75	42	38	80	155
2	芝入俊雄	結ヶ崎	38	40	78	38	41	79	157
2	山口梅吉	横浜	38	39	77	42	38	80	157
4	平本正美	長竹	39	37	76	38	44	82	158
5	鈴木勤三	青梅	40	40	80	41	40	81	161
5	須野賢	レインボーハイ	39	39	78	40	43	83	161
7	成宮秋良	横浜	37	42	79	39	44	83	162
7	武石小二郎	横浜	39	40	79	43	40	83	162
7	長谷川浩一	桐生	39	40	79	41	42	83	162
10	朝井和也	狭山	37	39	76	44	43	87	163
11	渡辺長四郎	飯能	40	43	83	40	41	81	164
11	新井康之	立川国際	40	41	81	38	45	83	164
11	大倉京斗	武蔵	42	38	80	44	40	84	164
11	山田真早美	鷺之台	37	41	78	47	39	86	164
15	鶴下光治	横浜	42	41	83	40	42	82	165
15	清水武男	水戸	39	40	79	40	46	86	165
17	菅沼重男	木原	38	44	82	41	43	84	166
17	金海顯太	大利根	41	41	82	38	46	84	166
17	大熊健造	東葉	40	41	81	39	46	85	166
17	村井田敏夫	小田原温湯	37	43	80	41	45	86	166
17	林善吾	西ヶ崎	40	40	80	44	42	86	166
22	細井慎一	日光	42	41	83	38	46	84	167
22	守山安	箱根	44	38	82	44	41	85	167
22	中山泉	芦戸	39	40	79	40	46	86	167
22	豊島義典	日野	40	41	81	43	43	86	167
22	毛利好	岡部サン	44	37	81	42	44	86	167
22	岩崎誠	高根	39	42	81	43	43	86	167
22	吉沢友之	東京みゆき	39	41	80	43	44	87	167
22	大竹栄一	武蔵	41	44	85	41	41	82	167
22	閑房勇作	芳賀	43	41	84	42	41	83	167
22	田中廉也	蘿藤	41	43	84	43	40	83	167
22	新保衝助	藤ヶ谷	38	39	78	42	46	88	167
33	大城登三郎	袖ヶ浦	42	41	83	41	44	85	168
33	高木宏	日野	37	42	80	43	43	86	168
33	鈴木宏宗	取手新日本	40	39	79	45	44	89	168
36	石村静雄	山	41	43	84	40	45	85	169
36	柳引大吉	秩父	43	40	83	43	43	86	169
36	奥溝利明	江戸崎	43	43	83	44	42	86	169
36	井上祐久	川崎国際	41	41	82	40	47	87	169
36	新井邦史	あさひヶ丘	42	40	82	43	44	87	169
36	四輪喜一郎	草月・佐野	37	42	79	44	45	89	168
36	内山正審	桜ヶ丘	41	41	82	42	45	87	169
36	根本致穂	水戸	38	43	81	41	47	88	169
36	本多実	愛山	37	42	79	41	49	90	169
45	青木敏夫	茨城	42	47	89	42	39	81	170
45	河本在原	城北	38	37	83	42	45	87	170
45	杉山冲四郎	武蔵	41	40	81	41	48	89	170
45	池袋智	桜ヶ丘	41	40	81	46	43	89	170
45	植松和一	沼津	38	42	80	45	45	90	170
50	首藤利夫	大森	45	39	84	38	48	87	171
50	前田謙一郎	我孫子	44	39	83	42	46	88	171
50	中村敬	南箱根	41	41	83	42	46	88	171
50	吉村金男	セントラル	39	43	82	44	45	89	171
50	平野盛雄	原宿	39	43	82	45	44	89	171
50	日下石廣美	風	30	41	81	45	45	90	171
50	松野京三	我孫子	40	45	85	45	41	86	171
50	河原克次	茨城	42	40	82	41	49	90	172
57	瓶原一雄	あさひヶ丘	41	40	81	45	46	91	172
57	大塚成吉	山	42	43	85	44	43	87	172
57	小宮山光正	鶴ヶ崎	42	43	85	45	42	87	172
57	小宮五郎	風	42	43	85	41	46	87	172
57	大場角次郎	東京	43	41	84	46	42	88	172
63	林茂樹	新千葉	39	44	83	42	48	90	173
63	酒井文人	小金井	42	43	85	47	41	88	173
63	秀口正	横浜	39	46	85	41	47	88	173
63	浅井辰郎	東千葉	41	44	85	46	42	88	173
67	塙沢龍彦	鷺之台	43	47	90	42	42	84	174
67	別当道	横浜	46	43	89	43	42	85	174
67	初見敬一郎	大利根	40	43	83	41	50	91	174
67	林眞巳	東ノ宮	44	43	87	44	43	87	174

## 競技

### 昭和61年度 関東グランド・シニアゴルフ選手権競技

●開催期日 10月22日(水) ●開催コース 東京ゴルフ倶楽部(6,300ヤード、パー72)

8時18分アウトコースからスタートした黒石(我孫子)、同じアウトコース9時18分スタートの昨年度チャンピオン武石(船橋)がともに79ストローク、誰しも二人によるブレーオフと思ったにちがいない。ところがインコース10時18分最終組でスタートした宮田(船橋)が同じ79ストロークでホールアウトし、最後の最後に3人によるブレーオフとなった。2時間待った黒石と、1時間待った武石、ホールアウト直後の宮田、決戦にのぞむ三者の心理状態はどんなものであったか、うかがうすべもないが……ゴルフでは禁句の「あのパットがなあ…」「あのショットが…」等々の言葉が午後2時頃から吹き出した風の彼方から聞こえて来るようなブレーオフであった。

ブレーオフはアウト1、2、3番、イン16、17、18番ホールの予定でスタート。ジャンケンで決めたオナ一宮田は力が入ったのか左ラフへ、距離もあまり出ず、2番目武石は左フェアウェイぎりぎりにナイスショット、3番目黒石は2時間休養が良かったのか、左ラフながらグリーンまで約70ヤードの地点へ飛ばした。

宮田は2打目ウッドで右ラフへ、そこから3オン、



▲61年度グランド・シニア選手権競技は、東京ゴルフ倶楽部で開催

この時点で武石と黒石のショートアイアンの勝負となつた。武石はPWでピン手前3mにオン、黒石はPWでピン左奥2mの所へナイスオン。宮田と黒石はほぼ同じ方向から、しかし宮田のパーべットは強く、1mオーバーして脱落。さあ、武石か黒石か。武石はブレーオフを待つ間一人もくもくとバットの練習をしていた。自分の歩幅は70cmで4歩あった。2.8mストレートに打った。真ん中から「コトーン」と1番ホールに響き渡るナイスバーディー。「ヨシ!!」とガッツポーズが出た。残るは黒石、2番ホールへとサドンデスは続くか……。最初に宮田が同じ方向からパーべットを打ったが強過ぎてラインの参考にはならない。2時間も待ったんだからじっくり芝を読んで……ラインは決まった。打った……しかし無情にもボールは僅かカップの左を通り過ぎた。この瞬間、武石の2年連続優勝は決まった。それにしてもこの3人によるブレーオフは1ホールではあったが永年のキャリアを十二分に発揮し、アマチュアゴルフの最高の一戦といつても過言ではあるまい。



▲中井競技委員長より優勝カップを受ける武石氏

61年度グランド・シニア選手権競技は10月22日(水)埼玉県狭山市の東京ゴルフ倶楽部で開催された。前夜の雨も朝には上がり、午前中は無風、11時の気温は20℃と数日来の寒さから暖かさのようなゴルフ日和となつた。出場選手の中には半袖にベスト姿でプレーをする元気者も見られた。優勝は2年連続武石の頭上に輝いたが、「ゴルフを始めてから30年。丁度いい区切りが出来ました」。グランド・シニアと言われてもまだ仕事もばりばり、現役の社長さん(乳製品販売会社)。「今回の優勝は『乳』パワーですよ。ブレーオフで一緒に宮田さんはうちの親会社の方、所属も同じ船橋(船橋2対1我孫子1では黒石も不利だったかも?)」。趣味はゴルフだけ」と言う武石は常日頃体を鍛えている。かつてはタイヤを2本引っ張って足腰のトレーニングをしていたが、奥さんや娘さんからみつともないから止めてくれと言われ、今では室内でボート漕ぎ(椅子が動き、スプリングのオールが付いた物)の毎日だそうである。この努力がある限り武石の活躍はこれからも続くだろう。今年も80歳以上の参加者は5名おり、その中でも最年長者は86歳(1900年11月3日生まれ)の倉重清久さん(霞ヶ関)。フェアウェイを歩く姿は70歳そこそくと思われる若さ。今でも週2回コースに出て一回は奥さんと一緒にラウン

ドするそうである。因みにスコアは44、46の90。「今日はペントグリーンと聞いてパターを代えて来たらバットの感じがつかめなくて……」といかにも残念そうだった。表彰式の後、東京ゴルフ倶楽部の心尽くしの料理をいただきながら懇談に入り「来年また相模でお会いしましょう」と散会した。(文中敬称略)(文・写真とも片山晴美)



▲「また来年、元気でお会いしましょう」と森井常務理事の音頭で乾杯



▲いよいよブレーオフ、中井競技委員長の見守るなかで、ジャンケンでオナーを決める黒石(左から)宮田、武石の3選手

## 昭和61年度 関東グランド・シニアゴルフ選手権競技成績表

順位	氏名	所属	アウト	イン	合計
優勝	武石 小二郎	船橋	39	40	79
2	黒石 義忠	我孫子	39	40	79
2	宮田 貞三郎	船橋	41	38	79
4	浜田 良雄	武藏	40	41	81
4	松田 良雄	我孫子	40	41	81
4	田口 正男	霞ヶ関	41	40	81
7	伊藤 大造	甘利	42	40	82
7	雨宮 実昌	木本	43	39	82
7	田舎 得多	東京五日市	42	40	82
7	太田 勝郎	横浜	41	41	82
11	柳原 引大吉	筑波	41	42	83
11	安田 伸治	取手新日本	43	40	83
11	吉田 正三郎	霞ヶ関	40	43	83
11	清水 水武	水戸	40	43	83
15	河内 石太郎	武藏	41	43	84
15	駒場 雅日	光	40	44	84
15	鈴木 平義	船橋	42	42	84
15	山口 栄平	沼津	40	44	84
19	藤井 博志	武藏	41	44	85
19	三島 義温	東京	44	41	85
19	安川 泰東	京	40	45	85
19	中山 正市	市相	40	45	85
19	荒巻 春彦	豊島	44	41	85
19	栗原 実二	芝崎	43	42	85
19	田中 康三	植村	41	44	85
26	斎藤 弘	堺	44	42	86
26	南郷 鶴瓦	宏宗	41	45	86
26	山口 忠	武藏	42	44	86
26	山口 淳	ニセントスハドリース	42	44	86
26	坂本 平一郎	武藏	42	44	86
26	角田 健吉	戸塚	43	43	86
26	宮富 保	廣之台	42	44	86
33	徳田 博士	平サランライズ	42	45	87
33	永山 公平	サンライズ	45	42	87
33	倉野 四郎	大利根	44	43	87
33	村木 保人	相模原	45	42	87
33	小川 保人	相模原	42	45	87
38	河口 信治	雄武	45	43	88
38	森英雄	武藏	44	44	88
38	金森 正雄	野谷	44	44	88
38	青木 正策	藤ヶ谷	44	44	88
38	池田 伸親	東京	46	42	88
38	吉田 繁	東京	43	45	88
38	塙沢 龍夫彦	慶應	42	46	88
38	寺田 篤	霞ヶ関	44	44	88
46	重井 正男	飯沼	45	43	88
46	宮崎 三郎	東京	43	46	89
46	佐武 大市	東京五日市	48	41	89
46	大内山 栄	日本	45	44	89
46	安井 栄一	武藏	44	45	89
46	山角 敦	千葉	45	44	89
46	神林 錠	我孫子	42	47	89
46	矢野 正親	鳥山城	45	44	89
46	柏谷 宇吉	東京国際	44	45	89
46	田口 和男	旧軽井沢	42	47	89
56	増田 定次	慶應	47	43	90
56	倉山 清久	霞ヶ関	44	46	90
56	横山 鉄男	相模	43	47	90
56	島田 善久治	柏	45	45	90
56	上野 政次	鶴舞	44	46	90
56	河村 秀二	八王子	44	46	90
56	渡辺 松吉	吉澤	44	46	90
56	宮田 光秀	東京	43	47	90
56	加賀行三	程ヶ谷	44	46	90
56	松村 波雄	府中	45	45	90

## ルール Q&amp;A

**Q-1** ストローク・プレーでAがアプローチを終わり、球をマークしようと歩きだした。

Bはそれを見ていながらも、バッティングを始めた。ところが、強く打ちすぎてカップを通り越してAの球の方向へ球が飛びていった。

それを見たAは、いそいで自分の球を取ろうとして拾い上げた途端、手から球がすべり落ちて、動いているBの球に当たってしまった。その後の処置は?

**A-1** Aには罰2打が付加され、Bはそのストロークを取り消し、球を元の位置にもどし罰なしに再プレーすることになる。

Aが自己的球を拾い上げたとき、Bのバットした球はグリーン上で動いていたので、他の球が止まるまでプレーしたら、自分のイシ・プレーの球に触れることの禁止に違反となり、Aの親切な行動には2打の罰が課せられる。Aが手から落とした球は、局外者であるからBの球を止めた行為には罰はない。

参照—規則16-1g, 19-1(b) 裁定集19-16/2, 同19-16/1

**Q-2** Aがパッティングに入ろうとした。そのとき、内側についたBより「マークしようか」と申し出たが、「いいよ、邪魔にならないし、かえってラインの参考になるよ」と言って、そのままパッティングした。

Bのピックアップを認めなかったAにペナルティーは課されないか。

**A-2** プレーの妨げとなったり、援助となる球はプレーヤーの意志で、その球を拾い上げたり拾い上げてもらうことができるよう、22条に規定されている。

この場合、Bの球がAのプレーの援助になるとBが思ったときは、Bは自己の球を拾い上げないと合意の反則に問われる。

Aの表現が、たとえプレーの援助の依頼であった不当なものであっても、これに対する罰ではなく、Bが合意の反則を犯したときに両者が競技失格となる。

参照—規則1-3, 22 裁定集22/5, 22/6

**Q-3** Aは、グリーン上のBのボールを不注意に足で蹴とばしてしまった。この際、ペナルティーは?

**A-3** ストローク・プレーでは間にならないが、マッチプレーではAに1打の罰が課せられる。その球はリプレーしなければならない。

参照—規則18-3, 18-4 裁定集20-1/4

**Q-4** Aの30メートルほどのアプローチ・ショットは、ホールのふち近くに止まった。

Bの球はグリーンの外のカラーにあったので、ホールのふちにあるAの球はBのプレーの援助になる球の位置となっていた。

Bの次のプレーは、グリーン外からなのでAの球に当たっても罰はないから、Aが球を拾い上げないことを望んでいたが、Aがグリーンの方に近づいてくる気配にBは早くプレーをするべきか迷ってしまった。

Aのほうは、カップのふちに止まつた自分の球が、Bのプレーの妨げにはならず、むしろBのプレーの援助になることを分かっていたが、グリーン上までいって球を拾い上げることは、お互い気まずい思いをするのではと考え逡巡した。

このような状況はよく見うける光景であり、どのように対処すべきか。

**A-4** ゴルフ規則では、プレーヤーがプレーの援助となる球と認識したとき、公正なプレーができるよう行動するべきです。

プレーの援助となっているAの球は、Aが当然拾い上げるものとして、Bはプレーを待つべきです。

Aは、プレーの援助となる自己の球を拾い上げるべきで、もしAがそのような行動を起こさないときは、CあるいはDのプレーヤーがAに対して拾い上げを要求できるよう1984年に規則が改訂されています。

22条 他の球がプレーヤーのプレーを妨げたり、他のプレーヤーのプレーを援助すると思つた場合に、その球を拾い上げて貰うこと。

参照—裁定集3-4/1, 22/7

**Q-5** ある県の選手権競技において、競技中悪天候となり、プレー不可能な状況となつたため、競技委員会はプレーの一時中止を命じたが、天候が回復せず、しかも、この時点できなりのラウンド終了者もあったため、サスペンション・ゲーム(プレーの中断)として翌日再開することに決定した。翌日、新たに指定されたマーカーからその競技者の再開以前のスコアについては責任が持てぬといふ疑義が生じたが、競技委員会の決定ということで納得させた。

この場合、①この処置は妥当であったかどうか。②もしこの処置が不适当であるとすれば、どのような処置をとったら良いか。③また、新たに指定されたマーカーがカード提出に当たってアテストを拒否したとすれば、委員会はいかなる処置をとったら良いか。

**A-5** 競技が中止され、翌日再開時組み合わせ変更に伴うマーカーの処置について、競技委員会決定は

#### 1987年度アジア・ゴルフ・サーキット日程並びにアマチュア参加手続きに関する件

来年度アジア・ゴルフ・サーキットの日程が下記の通り予定されておりますのでお知らせします。

ついては、アマチュアの参加に関して例年通りJGAより下記の方法により、各開催国側に推薦致しますので、関東ゴルフ連盟加盟各クラブ会員の中に参加希望者がありましたら、当連盟までこの旨をご通知の上、手続きをお願いいたします。

記

- アマチュア参加希望者はJGA Hdcp2以下の者をJGAより各開催国協会宛に推薦する。
- 各参加希望者は各地区連盟を通じ、昭和62年1月20日までにJGAに到着するよう書類をもつて申込むこと。
- 参加料は各申込者負担とし、各開催協会の定める料金を本人が現地到着の上直接払い込むこと。
- なお、一部開催国協会より直接本人に対し招待のあった者でもアマチュア資格の証明を必要とするので、申請があればJGAより証明書を交付する。
- 日本オープン・ベストアマ、及び日本アマ・チ

①委員会の裁定は最終であるが、その処置は妥当でなかった。

②プレーが再開された時、マーカーを変更せざるを得ないならば、それまでのスコアはそこまでのマーカーにアテストをさせるべきである。欠席のため不在ならば委員会はあらゆる手段を講じてそのマーカーに連絡をつけるよう努力するべきである。どうしても連絡がとれない場合は、そこまでのプレーに立ち会った者(例えばマーカーのキャディ、競技者のキャディなど)によるスコアの確認が得られればそれを認めるべきである。もしそのような者が誰もいない場合は、マーカーによるアテストがなくても、そこまでのスコアは委員会として認めるべきである。(裁定集6-6b/6)

③新たに指定されたマーカーは、その後のスコアについてのみ記録する義務を有している。

それまでのスコアについて当事者でないのでマーカーとしてのアテストを拒否するのは当然である。

(裁定集6-6a/4参照) (回答:日本ゴルフ協会ルール委員会原一郎)

ヤンピオン以外の者はマンデートーナメントに出席しなければならない。

- エントリー後のキャンセルは、各人にて手続きすること。
- エントリーフォーム及びキャンセルフォームは後刻JGAに到着次第送付する。

以上

#### 1987年アジアゴルフサーキット日程

フィリピンオープン	2月19日(木)~22日(日)
香港オープン	2月26日(木)~3月1日(日)
マレーシアオープン	3月5日(木)~8日(日)
タイオープン	3月12日(木)~15日(日)
インドオープン	3月19日(木)~22日(日)
シンガポールオープン	3月26日(木)~29日(日)
インドネシアオープン	4月2日(木)~5日(日)
台湾オープン	4月9日(木)~12日(日)
毎経オープン(韓国)	4月16日(木)~19日(日)
ダンロップ国際(日本)	4月23日(木)~26日(日)

(注)各オープン開催コースは通知があり次第ご連絡します。

## 競技

### 昭和62年度 関東ゴルフ連盟競技日程表

月	日	曜	競 技 名	開催コース
5	12	火	関 東 女 子 選 手 権 予 選	第1ブロック 横 浜
	11	月		第2ブロック 高 根
5	18	月	関 東 ア マ チ ユ ア 選 手 権 予 選	第1ブロック 五 日 市
	22	金		第2ブロック 入 間
5	18	月	関 東 ア マ チ ユ ア 選 手 権 予 選	第3ブロック 朝 霞 ジ ャ ナ ポ リ
	19	火		第4ブロック 千 葉 夷 隅
5	26	火		第5ブロック 宍 戸 国 際
5	26	火	関 東 女 子 選 手 権 決 勝	小 川
	27	水		
6	1	月	東 京 地 区	多 摩
	1	月		埼 玉 地 区 鴻 崎
6	1	月	千 葉 地 区	始 ケ 崎
	2	火		神 奈 川 地 区 麦 野
6	25	月	茨 城 地 区	麻 生
	1	月		第1地区 土 浦
6	1	月	関 東 俱 楽 部 對 抗 予 選	板 木
	3	水		宇 都 宮
6	26	火		群 馬 地 区 関 越 ハ イ ラ ン ド
	1	月		静 岡 地 区 富 士 小 山
6	2	火		長 野 地 区 長 野 国 際
	11	木		新 潟 地 区 新 潟
6	9	火	東	名
	10	水		関 東 ア マ チ ユ ア 選 手 権 決 勝
6	11	木		
	30	火	東	関 東 俱 楽 部 対 抗 決 勝
7	21	火		
	22	水	ノーザン 錦ヶ原	関 東 ジ ュ ニ ア 選 手 権 予 選
7	23	木		
	29	水	武	関 東 ジ ュ ニ ア 選 手 権 決 勝
	30	木		
9	3	木	武	
	4	金		関 東 オ ブ ピ ン 選 手 権
9	5	土		
	6	日		
9	7	月	成 田 国 際	関 東 シ ニ ア 選 手 権 予 選
	8	火		青 梅
9	29	火	嵐 山	関 東 シ ニ ア 選 手 権 決 勝
	30	水		
10	19	月	相 模	関 東 グ ラ ン ド ・ シ ニ ア 選 手 権
	20	木		

### 昭和62年度 月例競技日程及び申込締切表

月	開 催 日	開 催 コース	申込 締 切 (2週間前)
1	1月27日(火)	程 ケ 谷	1月13日(火)
2	2月26日(木)	筑 波	2月12日(木)
3	3月27日(金)	袖ヶ浦・袖ヶ浦	3月13日(金)
4	4月16日(木)	千 葉・梅 郡	4月2日(木)
6	(男子) 6月17日(水)	東 京	6月3日(水)
	(女子) 6月26日(金)	桜 ケ 丘	6月12日(金)
7	(女子) 7月13日(月)	東 京 国 際	6月29日(月)
	(男子) 7月17日(金)	霞 ケ 間	7月3日(金)
8	(女子) 8月12日(水)	鎌 ケ 谷	7月29日(水)
	(男子) 8月21日(金)	我 孫 子	8月7日(金)
9	9月28日(月)	日 高	9月14日(月)
10	10月23日(金)	江 戸 嵐	10月9日(金)
11	11月13日(金)	武 藏	10月30日(金)
12	12月8日(火)	龍 ケ 崎	11月24日(火)

## 理事会・委員会

加盟俱楽部殿 昭和61年11月20日  
 関東ゴルフ連盟  
 理事長 細川謹貞  
 61年度第4回理事会議事録  
 日 時 昭和61年11月20日(木)正午  
 場 所 ホテルニューオータニ ももの間  
 出席者 細川理事長、武内副理事長、藤原、福田 彰、  
 木村、古茶、古賀、松浦、松野、森井、斎藤、佐  
 藤各常務理事、福田富市、河西、金丸、勝山、  
 北村、小林金太郎、小林 忠、松本、大坪、佐久  
 目、山本、吉沢各理事  
 ——決議事項——

### 1. 関東オープンゴルフ選手権収支概算報告の件

武内委員長より、関東オープンの収支について説明があり、全員異議なくこれを承認した。  
 なお、開催コースに支払う使用料については、これまでの慣例に従い、コース側と話し合いをして決定することとした。

### 2. 委員会報告・提案の件

#### (イ)競技委員会

「ヤード表示」問題について、森井副委員長より以下の提案がなされ、討議の結果、全員了承した。昭和61年9月8日開催のJGA第4回理事会にて決定された「ヤード表示の件」をうけ、KGAとして加盟各俱楽部に別紙(61年11月29日付送付の通知を参照のこと)の通知を行う。

#### (ロ)ハンディキャップ委員会

福田 彰委員長より、本年6月から行ってきた「JGAハンディキャップに関するアンケート調査」の11月15日現在の集計報告がなされた。

俱楽部数	JGAハンディキャップ
加盟俱楽部※除外俱楽部 351	38 313 259 82.7%

\*除外俱楽部とは、コース・レート未取得俱楽部(8)、登録会員微少ならびにリゾート・コース俱楽部(30)

上記の結果を踏まえて、未回答俱楽部には今後も引きつづき調査、促進を行う。

また、普及促進のため、新規加盟俱楽部には推薦俱楽部理事が勧誘することとした。JGAに促進用ポスターの製作、配布の検討方を要請することをハンディキャップ委員会の要望事項として報告された。

### ハグリーン委員会

古賀委員長より「第14回KGAグリーン研究講習会」(11月19日、日本出版クラブ会館)の報告がなされた。

今回のテーマは「ゴルフ場における用と景」(東京農大・金井 格)「ゴルフ場における樹木の役割」(グリーン委員会参与・大久保 昌、柳 久)であった。有意義かつ成果の上がった会であった。出席者は90俱楽部155名。

また、引きつづき開かれた本年度第3回グリーン委員会では、KGAニュースに「芝草」に関する基本的な記事を連載し、小冊子にすることはどうか、といった提案がなされた。

#### (ロ)税対策委員会

松浦副委員長より、娯楽施設利用税、間接税問題が重要な時期にかかるており、各理事においては、関係各位に対する働きかけをお願いしたいとの要望がなされた。

### 3. 新規加盟俱楽部申請の件

武内委員長より下記俱楽部入会承認の提案がなされ、全員異議なくこれを承認した。

1. 大新潟カントリー倶楽部 出雲崎コース
2. 月夜野カントリークラブ
3. 南千葉ゴルフ倶楽部
4. 堀野カントリー倶楽部

以上の4俱楽部加盟により、11月20日現在加盟俱楽部総数は355となった。

### 4. 62年度関東オープン準備委員会結成の件

細川理事長より、武内副理事長をその委員長とし、委員は委員長一任の提案がなされ、全員異議なく、これを了承した。

### 5. 62年度予算特別委員会結成の件

細川理事長より、武内副理事長をその委員長とし、委員は委員長一任の提案がなされ、全員これを了承した。

### 6. 昭和62年度理事、委員改選について

細川理事長より62年度は役員改選期に当たるので各県別で会合を持ち、県代表理事の選出を年内に行いうよう指示があり、全員これを了承した。

次回理事会 昭和62年1月22日

62年度第1回理事会 昭和62年2月20日

第39回通常総会 昭和62年2月20日

以上

## コース・レート

### ●昭和61年8月4日決定

クラブ名	Korai		Bent	
	Back	Reg	Back	Reg
千葉グリーンパークカントリー倶楽部(6月23日査定)	71.8	68.4	73.6	69.8
千葉スプリングスカントリークラブ(7月22日査定)			72.1	70.0
伊香保ゴルフ倶楽部(7月25日査定)	69.7	68.2	71.0	69.2

### ●昭和61年10月3日決定

クラブ名	Main Green		Sub Green	
	Back	Reg	Back	Reg
セントラルゴルフクラブ西コース(8月5日査定)	71.4	69.6	71.1	69.5

クラブ名	Korai		Bent	
	Back	Reg	Back	Reg
鶴ヶ島ゴルフ倶楽部(8月29日査定)				
東・南コース	68.4	66.6	70.3	68.6
西・南コース	68.3	66.3	69.6	68.0
東・西コース	68.4	66.5	70.1	68.2
総成カントリー倶楽部(9月18日査定)				
東・西コース	70.6	69.1	69.2	67.7
南・東コース	70.7	68.9	69.1	67.4
西・南コース	69.3	67.9	68.2	66.8

クラブ名	Back		Reg	
松本カントリークラブ(9月25日査定)			72.4	70.5

### ●昭和61年11月10日決定

クラブ名	Korai		Bent	
	Back	Reg	Back	Reg
高麗川カントリークラブ(10月14日査定)	70.4		71.5	
東千葉カントリー倶楽部(10月30日査定)				
東・中コース	72.2	70.0	72.0	70.0
東・西コース	71.2	69.2	71.0	69.3
中・西コース	71.3	69.6	70.7	69.1
関越ハイランドゴルフクラブ(10月31日査定)				
かえで・けやきコース	71.6	69.8	70.9	69.1
かえで・さざんかコース	71.1	69.3	70.4	68.6
けやき・さざんかコース	71.2	69.5	70.7	68.9
裾野カントリー倶楽部(11月5日査定)				
清川カントリークラブ(11月6日査定)				
レインボーカントリー倶楽部(10月24日)	71.2	69.8	72.0	70.5
越生ゴルフクラブ(11月10日机上査定)	71.5	69.1	70.0	68.0

(注)なお、レインボーカントリー倶楽部の査定は、改造に伴う距離の延長個所を中野委員が現地視察査定し、その報告を全員了承したもの。

# 昭和61年度 月例ポイント表

## 男子月例ポイント表

12月終了時

順位	ポイント	氏名	順位	ポイント	氏名	順位	ポイント	氏名
1	140	鷲田憲人	32	36	小林勝美	61	17	前場敏信
2	132	宮辰夫	32	36	大久保義蕃	64	16	大久保義蕃
3	110	太田再一	34	35	中島廣行	64	16	萩島富雄
4	109	石井孝二	34	35	西川昌行	64	16	佐久間樹雄
5	98	室伏健二	36	34	田代昌一	64	16	丸山茂樹
6	95	志村健	37	32	網中義郎	64	16	山田烈
7	90	和田博	37	32	額賀義朗	69	15	森永清
8	87	吉田八一	37	32	古木真二	70	14	大作正清
9	67	鹿屋修彦	40	31	杉木田口	70	14	藤福清
10	62	金沢淳二	41	29	本山年正	72	13	安藤義隆
11	61	上原明宏	43	27	白井衛	74	11	永澤章三
12	58	佐藤英明	43	27	中山章郎	74	11	木山太光
12	58	内藤正幸	45	26	大山四郎	76	10	佐野義司
15	56	鈴木亨	45	26	加藤光茂	77	9	佐野義則
16	53	山内弘	47	25	小池哲	77	9	高木薰人
17	52	中宮本廣治	47	25	阪田哲	77	9	滋賀義久
19	50	小出一透	50	24	中村茂	80	5	高石直
20	49	小川秋英	51	23	川嘉徳	82	4	松井渡
21	48	和田雅英	51	23	大竹徹	82	4	吉澤大浩
22	47	新村ヨシオ	53	21	奥延通	82	4	芹澤浩介
23	46	高安信行	53	21	原増進	85	3	坪井大浩
24	45	竹林信守	53	21	田邊嘉	86	1	石井重喜
25	43	大友雄二	56	20	佐久間健	86	1	笠原喜久
25	43	佐久間徹	56	20	松下健	86	1	木下幸一
25	43	杉山直也	58	19	岡田光	86	1	林下秋
28	38	波場イサク	58	19	中川利一	86	1	林正義
29	37	佐久間雄	60	18	五十嵐唯	86	1	佐久間敏
29	37	鈴木軍治	61	17	荒井準	86	1	星野隆治
29	37	瀬戸信朗	61	17	高橋	86	1	星野正治

## 女子月例ポイント表

12月終了時

順位	ポイント	氏名	順位	ポイント	氏名	順位	ポイント	氏名
1	55	渡辺恵子	16	11	田中千枝子	30	5	高倉美香
2	34	木村敏美	17	10	金田正子	30	5	外川典子
3	31	木尾闇久江	17	10	和田せつ子	30	5	上野千江里
4	30	吉沢キミ子	19	9	甘穂温子	34	4	谷口典江
5	26	須賀みお	19	9	紀村多栄	34	4	野崎裕子
6	25	喜多麻子	21	8	大久保清子	36	3	内田トシ子
7	24	三木恵美子	21	8	小野岡たき子	36	3	黒沼力ホル
8	22	湯原田香葉	21	8	菊地恵美子	38	2	山根みどり
9	19	湯原田香葉	21	8	菊地美枝子	39	1	猪股恵子
10	17	加藤勝栄	21	8	許斐順子	39	1	大谷悦子
10	17	田村千代子	21	8	鈴木エツ	39	1	栗田富代
12	14	青木英子	27	7	勝田良子	39	1	佐々木諒子
13	13	近藤信子	28	6	田中優子	39	1	高谷玲子
14	12	中村友美	28	6	土川里枝			
14	12	森田晴美	30	5	石田雅子			

## 月例競技成績表

[61年9月 月例] 参加：男子92名 女子48名 9月29日(月) 於：嵐山カントリークラブ

(男子)

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	加藤家光	甘楽	35	35	70
2	宮辰夫	習志野	35	36	71
3	石井孝一	上総富士	37	35	72
3	山内宗広	東京五日市	34	38	72
3	宮本清	小川	36	36	72
(以上入賞)					
6	古木真二	専修大	39	34	73
6	鳴田憲人	青梅	36	37	73
8	吉田八郎	長竹	36	38	74
8	太田再勇	大相模	37	37	74
8	鷹塙一郎	セントラル	37	37	74
11	額賀義朗	船橋	38	38	76
11	内藤正幸	桜ヶ丘	38	38	76
11	佐藤英明	新千葉	36	40	76
(以上入賞)					

コース・レート 72.3

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
11	秋元嘉夫	富士平原	37	39	76
11	前場敏信	杉ノ郷	38	38	76
11	東名厚木	東名厚木	40	36	76
17	田代昌義	新千葉	38	39	77
17	高山薦	谷谷	39	38	77
17	和田雅英	東京五日市	40	37	77
17	中村義清	水戸	38	39	77
17	相馬久男	袖ヶ浦	39	38	77
17	高橋敏	浅見	39	38	77
17	竹林守	宍戸国際	38	39	77
17	和田洋博	東京五日市	38	39	77
17	小林勝美	立川国際	39	38	77
(以上入賞)					

コース・レート 72.3

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	三木恵美子	富士士	35	39	74
2	渡辺恵子	高根	37	40	77
3	木村敏美	藤岡	42	41	83
3	許斐順子	箱根	42	41	83
3	菊地美枝子	大厚木	42	41	83
3	須賀みお	浦和新日本	42	41	83
(以上入賞)					

コース・レート 70.1

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
7	湯原光葉	鳥山城	41	43	84
7	近藤信子	富士ロイヤル	42	42	84
7	谷口典江	河口湖	41	43	84
10	青木英子	船橋	43	42	85
10	中村友美	東千葉	45	40	85
10	黒沼カホル	鳥山城	42	43	85
10	田中千枝子	日高	42	43	85
(以上入賞)					

コース・レート 70.1

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	高安信行	セントラル	35	38	73
2	瀬戸信朗	中山	37	38	75
2	鳴田寅人	青梅	38	37	75
4	杉山直也	紫塚	37	39	76
4	和田博	東京五日市	39	37	76
(以上入賞)					
6	新村ヨシオ	千葉	40	37	77
6	植口淳	千成	38	39	77
6	松下健	日大	37	40	77
6	宮辰夫	習志野	38	39	77
6	金沢俊彦	東京国際	38	39	77
6	佐藤英明	新千葉	40	37	77
12	上代修二	中山	41	37	78
12	白井正衛	新千葉	40	38	78
12	藤田達也	同部チサン	39	39	78
(以上入賞)					

コース・レート 72.4

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	須賀みお	浦和新日本	38	42	80
2	湯原光葉	鳥山城	40	44	84
3	木村敏美	藤岡	40	45	85
(以上入賞)					
4	青木英子	船橋	41	45	86
4	鈴木エツ	大妻野	41	45	86
6	大久保清子	川越	43	44	87
(以上入賞)					

コース・レート 69.6

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
6	中村友美	東千葉	41	46	87
6	渡辺恵子	高根	42	45	87
9	外川典子	河口湖	42	46	88
9	内田トシ子	新宇都宮	40	48	88
9	黒沼カホル	鳥山城	44	44	88
9	菊地恵美子	宇都宮	43	45	88
9	金田正子	大厚木	43	45	88
(以上入賞)					

## 月例競技成績表

(61年11月 月例) 参加：男子91名 女子49名 11月14日(金) 於：武藏カントリークラブ(笹井)

(男子)

順位	氏 名	クラブ	アウト	イン	合計
1	大 山 四 郎	鎌ヶ谷	35	33	68
1	金 沢 俊 彦	東京国際	33	35	68
3	太 田 再 勇	大相模	35	35	70
3	中 野 弘 治	美 韶	35	35	70
5	内 藤 正 幸	桜ヶ丘	36	35	71
5	石 井 孝 一	上 級富士	35	36	71
5	志 村 幹 夫	大 洗	34	37	71
(以上入賞)					
8	鷲 田 審 人	青 梅	37	35	72
8	大 友 富 雄	原 塚	34	38	72
10	杉 田 努	GMG八王子	39	34	73
10	吉 田 八 郎	長 竹	37	36	73
10	室 伏 健 二	東 名	35	38	73
10	網 中 一 郎	霞ヶ関	37	36	73
10	中 川 利 一	大 平 台	38	35	73
10	萩 島 富 雄	武 藏 野	36	37	73
16	小 川 透	岡部チサン	36	38	74

コース・レート 71.0

(注)大山四郎、金沢俊彦氏はタイ・スコアの為、12月月例にてプレー・オフを行います。

(女子)

順位	氏 名	クラブ	アウト	イン	合計
1	原 田 香 里	鳥 山 城	37	36	73
2	渡 辺 恵 子	高 模	41	36	77
2	喜 多 麻 子	鳥 山 城	40	37	77
(以上入賞)					
4	木 村 敏 美	藤 岡	37	41	78
4	加 藤 胜 実	平家富士見	37	41	78
4	田 村 千代子	鎌ヶ谷	40	38	78

コース・レート 69.3

## お知らせ

### クラブ代表者変更のお知らせ

クラブ名	クラブ代表者
大新潟カントリー倶楽部 出雲崎コース	(新)星 正吉 (新)荒川修二
月夜野カントリークラブ	(新)黒河 力 (新)佐田利英雄
南千葉ゴルフ倶楽部	(新)佐藤英治 (新)林 幸正
振野カントリー倶楽部	(新)米倉 功 (新)大池文雄
リバーエ富士 カントリークラブ	(新)斎藤正三 (旧)奥川純一
富士レイクサイド カントリー倶楽部	志村哲良 (新)植谷久三 志村哲良
岡部チサン カントリークラブ	(新)竹井博史 (旧)持田高良

### 理事長名訂正のお知らせ

前号で掲載した「理事長変更のお知らせ」のうち、鹿野山力

ントリークラブの新理事長名が誤って記載されました。下記のように訂正するとともに、お詫び申し上げます。  
(誤) 前田利三郎→(正) 前田福三郎

### 理事長変更のお知らせ

妙高カントリークラブ (新)岡崎寅雄  
(旧)安田 一  
龍ヶ崎カントリー倶楽部 (新)金尾 實  
(旧)横田久生

### 事務局からのお願い

- 会報(月刊、季刊を問わず)をお手数ですが当連盟へお送りください。「KGAニュース」の企画の参考にしたいと思います。また、会員名簿につきましても最新版、改訂版発行の都度、お送りください。
  - 当連盟が主催する競技(月例を含む)の申込締切日は、必ず厳守するようお願いいたします。
  - ルールに関する疑問、質問などがありましたら、どしどしお寄せください。「KGAニュース」の誌面等でお答えします。
  - 「KGAニュース」についてのご感想、ご意見もお待ちしております。
- 以上加盟各倶楽部のご協力をお願いいたします。